

会長メッセージ

原点に立ち返り、使う・買う立場で お客様に暮らしの豊かさを提供してまいります。



代表取締役会長 兼
最高経営責任者 (CEO)

似鳥 昭雄

社是

- 一、私たちは、世界で豊かな暮らしを提供します。
- 一、私たちは、品質が維持された商品をより安くお届けします。
- 一、私たちは、トータルにコーディネートされた住まいを提案します。
- 一、私たちは、世界でA級のスペシャリストを目指します。

2026年度スローガン

- 一、使う・買う立場で観判し、提案・行動しよう。
- 一、安さを追求し、
買上げ客数・買上率を増やそう。
- 一、コーディネートを提案し、
買上げ客数・品目数を増やそう。
- 一、ビジョンから逆算し、改善・改革をしよう。

暮らしの豊かさを実現できる 社会を目指して

ニトリグループは、2025年2月、企業理念であるロマン(志)を、「暮らしの豊かさを世界の人々に提供する。」へと改定いたしました。創業以来、「日本の住まいを欧米のように豊かなものにしたい」という想いのもと成長を続けてきました。現在は従来の「住まい」という枠組みにとどまることなく、より広い視点でお客様が毎日を自分らしく過ごせることを目指し、「暮らしの総合提案企業」として進化を続けています。事業領域は、家具・ホームファッションを起点に、家電、アパレル、ホームセンターへと広がり、店舗展開も北海道から本州、全国、更に海外へと拡大してまいりました。これらの成長を支えてきたのが、「製造物流IT小売業」というグループ独自のビジネスモデルであり、当社はその強化と拡張に継続的に取り組んでいます。こうした事業の広がりや進化の根底には、創業時から変わることのない「暮らしを豊かにしたい」というロマン(志)が、今なお息づいています。暮らしを永続的に支える企業として未来を見据え、持続可能な社会をつくるための取り組みを進めています。ニトリグループは、暮らしの総合的な提案力を更に高め、多くの人が当たり前に暮らしの豊かさを享受できる社会を目指してまいります。

原点に立ち返り、成長基盤を再構築

近年、世界情勢や事業環境が大きく変化する中で、企業にはこれまで以上に強い競争力と変革力が求められています。ニトリグループも例外ではありません。2024年3月期には36期続いた増収増益が途切れました。この結果を、経営者として重く受け止めております。過去の成功体験に安住しては成長を続けることはできないという現実を、改めて突き付けられました。こうした状況を踏まえ、今一度原点に立ち返り、お客様のことを第一に考え、改善・改革を進めています。最優先課題は、商品力の強化です。当社の競争力の源泉は、「お、ねだん以上。」とお客様に実感していただける商品にあります。その価値を改めて磨き直すため、商品開発体制や組織の在り方、仕事の進め方を抜本的に見直しました。2027年3月期に向けては、新商品比率を大幅に引き上げることを明確な目標と

し、時代やお客様の変化に対応した商品を継続的に生み出す仕組みづくりを進めています。あわせて、業務効率及び生産性の向上も重要な課題の一つです。商品開発のプロセスや意思決定の流れを一から見直し、AIも活用することで作業効率化を図り、新商品投入までの期間短縮を実現しています。引き続き組織や役割を再設計し、成果を最大化できる体制へと転換を進めてまいります。製造面では、工場生産体制の強化を重要な施策と位置づけています。原材料から完成品までを一貫して生産できる体制を活かしつつ、自動化や最新技術の導入を進め、品質を維持しながらコスト削減する取り組みを継続しています。生産性の向上と安定供給の両立を図ることで、厳しい環境下でも利益を生み出せる体質づくりを進めています。海外事業については、成長戦略の柱として出店を加速させています。将来の成長につながる基盤を整え、持続的な出店につなげていく方針です。

成長軌道に乗せ、次の代へバトンをつなぐ

2024年3月期から2026年3月期は、当社にとって次なる成長に向けた躍り場のような期間であったと捉えています。2027年3月期は、改革を通じて成長の階段を上り、飛躍的な成長へとつなげていく重要な一年です。困難な環境ではありますが、逆境の中で頼もしい新たなリーダーが着実に育っています。近年は、世界を舞台に活躍するリーダーや、50歳前後でグループ子会社の社長を務める人材も10名ほど輩出されてきました。若い世代も、人材育成の仕組みや幅広い分野での配転教育を通じて、多数精鋭の人材が育っています。私は事業を再び成長軌道に乗せた上で、次の代へバトンを渡していきたいと考えております。今後ともお客様を第一に考えた「先客後利」の精神のもと、グループ一丸となって挑戦を続け、持続的な成長を実現してまいります。ニトリグループは、暮らしの総合的な提案力を、世界中のより多くの人に届け、笑顔をつなぐ企業であり続けます。

株主の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様におかれましては、引き続きのご支援とご期待を賜りますようお願い申し上げます。